

剣道用具確認証（7月31日提出）

1) 竹刀関連：検査本数（ ）本

- ☐ 竹刀の長さ（全長）が適正
- ☐ 竹刀の重さが適正
- ☐ 竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正
- ☐ 先から 8cm 部分のちくとう部の太さ（対角）が適正
- ☐ 先革の長さが適正
- ☐ 中結の位置（＝全長の約 1/4）が適正
- ☐ 各ピース（竹）の間の隙間がない
- ☐ 破損・ささくれはない
- ☐ 不当な付属品を使用していない
- ☐ 安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

2) 小手関連

- ☐ こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の 1/2 以上を保護している
- ☐ 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が 2.5cm 以内である
- ☐ 小手頭部・小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

- ☐ 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている
- ☐ 面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

- ☐ 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

上記の確認項目に対する結果を、下記に記入をしてください。

都道府県名

	氏名	確認		氏名	確認
先鋒		不備がある ・ ない	男子個人		不備がある ・ ない
次鋒		不備がある ・ ない	男子個人		不備がある ・ ない
中堅		不備がある ・ ない	女子個人		不備がある ・ ない
副将		不備がある ・ ない	女子個人		不備がある ・ ない
大将		不備がある ・ ない			